

## 堺発 “もてなし茶会”

### 世界のお茶 「寄り合い文化席」ー 開口神社「さつきまつり」

開口神社宮司 三上尚嘉

開口神社(あぐちじんじゃ)では、毎年5月5日に子供を中心としたまつり「さつき祭」を開催しております。この祭りは、自然の恵みに感謝し、新しく若々しい命の復活を象徴する新緑のこの季節に

1. 「こども」と「大人」の接点を図ること
2. 若々しい子供と共に地域に活力をもたらす

この2点を重点に企画したお祭りです。

平成4年5月5日を第1回としてはじめ、平成20年で17回目を迎えました。

当初は、堺の伝統工芸である堺五月鯉幟の奉納を伝統工芸士・高田為八氏より受け、15メートルのポールに7メートルもの大鯉のぼりを祭りのシンボルとして掲揚して始めました。神事として、宿院町西の利休屋敷跡へ渡り行列を組んでお渡しをして、利休を偲んで献茶をいたしました。今は名越の丘跡の宿院公園に巡回しています。

また、堺の生んだクラリネット奏者・稲本耕一氏の全面的なご協賛のもと、夕刻からご本殿で「稲本耕一とさつき祭アンサンブル」によるコンサートが催され、年々祭の地歩が築かれて参りました。その後、難病連の方による福祉バザー、福祉施設作業所によるバザー、奈良・大宇陀の物産市も加わって多彩になって今日に至っております。

地元の人達のご協力で実行委員会形式の企画運営をしております。平成19年は、延べ3,000人前後の人達がお越しになりました。

